

平成 28 年 4 月 27 日 総合分析実験センター利用者説明会アンケート

1. 不足している光熱費・維持費についての考え

- ① 利用料金の値上げ：9 名
- ② 理工学部への支援拡大：5 名
- ③ その他：全学的に支援拡大 3 名
 - ① ②の両方すべき 3 名

提案・意見；

- ・ 科研費等の外部資金を使えるようにはできないか？
- ・ 料金を上げつつ支援をお願いするしかないと思います

回答；

- ・ 料金の支払いについては理事に要望書を提出しています。寄付金での支払いについても消耗品等の購入を立て替えていただく方法を検討しています。
- ・ 支援の要望も理事に行っていく予定です。
- ・ 利用料金の値上げの方向で試算をしています。

2. 修理費用についての考え

- ① センターの全額負担：1 名
- ② 一定割合を利用者が負担：16 名
- ③ その他：3 名
 - ・ 大学全体で運営・負担する。
 - ・ 割合ではなく、一定金額を決めて利用者が負担する（割合では修理費要の予想が難しく、心配で使用できない為）

回答；

- ・ センターの予備費として確保しますが、限りがあるため、一定額（10 万円）以内の修理については全額センター負担で、それ以上の場合には利用者とセンターでその負担割合を協議させていただきます。多くの利用者に共用されている機器についてはセンターの負担率を高く（最高 50%）、利用者が 1 研究室の場合負担率は 0%とすることを考えています。

3. リサイクルファシリティについて

- ・ 少額の利用料を徴収する案はどうか？
- ・ アナウンスが不十分なのは？
- ・ 期間を設けて必要か否か点検する。転売システムの構築
- ・ 機会があれば利用したい

- ・このままでお願いします。写真でHPにアップしてほしい
- ・積極的な収集、配信。
- ・情報を知らないので特に要望はない。
- ・良い

回答；

- ・譲渡物品が生じた際、メールでの情報発信する方式に変更しています。

4. 再活用室の今後

無回答 4 名

- ① 利用者が費用を負担：13 名
- ② 理工学部の管理：2 名
- ③ 廃止：1 名

意見：・費用を利用者が負担した方が利用しやすい（1 部屋 2～5 万円/年程度）
・情報を知らない（渡）

回答；

- ・意見の多かった利用者負担をお願いし、1 部屋 2 万円、物品 1 個につき 1,000 円程度で検討しています。

5-1. 鍋島地区機器分析部門の利用希望

無回答 1 名

- ① 利用したい：9 名
- ② 利用する予定はない：10 名

5-2. 利用したい場合の機器名

- ・SEM（2 名）
- ・TOF MS（2 名）
- ・RT-PCR, マルチプレートリーダー（1 名）
- ・TEM（1 名）最近忙しく利用できていないが今後も利用したい
- ・無回答（1 名）
- ・力学物性、共焦点（1 名）
- ・PCR（1 名）

6. 今後のセンター運営についての要望

意見・質問・要望

- ・これほど少ない予算で運営していることに驚いた。分析センターの共同機器は理系研究の重要な生命線であるため安定で継続的な運用を切に望む。予算が少なく感じ

る。大学から予算を多くとることはできないか。大学は研究させるつもりはないのか？優先順位は高くあるべきでしょう。メンテナンス費用の積み立てはしていないのか？

- 利用者委員会等を開催し、運営等の議論を行っていただきたい（特に本庄地区）
- いつもお世話になっています。鍋島地区の方を今後とも利用させていただきたいと思います。本庄地区も鍋島地区のように利用機器を増やしていただきたいです。
- センター管理費が問題である。本庄と鍋島の予算は別で運用。使用している料金がすぐに見えるようにする。財政は100%いろいろなところから使用できるようにする。全部 fund、文科省、大学でのセンター位置付け、適切な人員の配置と学生への指導システム
- 定期的な保守点検

回答；

- 積み立て制度の確立、共通性の高い維持費や整備費にかかる運営予算の確保、利用料金支払い方法の多角化については引き続き要望してゆきたいと思います。
- 定期的に利用者委員会等を開催し、運営状況の報告と運営に関する議論ができる場を作っていきたいと思います。
- 適切な人員の配置と学生への指導につきましては、要望を聴きながら、少しずつできることを増やしてゆきたいと思います。